

あの子ども
この子ども
みんなの子

前橋のPTA

発行所 前橋市PTA連合会
発行人 狩野 恭弘
編集者 阿久澤 麻美
責任者
https://www.sites.google.com/view/maebashipta
印刷所 上毎印刷工業株式会社

優良PTA群馬県教育委員会表彰

生徒の未来に向けたPTA活動

前橋市立元総社中学校PTA



本校PTAは、本部役員以下、進路・学年・広報・支部の四つの専門委員で構成され、先生方や地域と協力しながら、生徒のために何ができるか考えながら、日々活動を行っています。

具体的には、進路委員を中心に、卒業した生徒から在校生に向けた「先輩からのメッセージ」を例年発行し、高校の紹介や体験・アドバイスなどが、在校生の進路への参考となっています。進路講演会も年一回実施し、今年度は「未来と世界を知る」をテーマに、講演会を開催しました。残念ながら対面ではなく放送による開催となりました。残念ながら対面真剣にメモを取る生徒や紙面いっぱい感想を書く生徒が多く、開催してよかったと実感しています。

現在も続いているコロナ禍ですが、各行事の中止や縮小があったため、生徒の気持ちを未来に向けさせようと考えました。令和三年度は、生徒が二十歳になるときに届く「タイムカプセル郵便」を、PTAと生徒会本部が中心となって実施しました。生徒が実施方法などを主体的に考え、成長の機会を創ることができたと思います。令和四年度は、卒業の門出に、生徒が描いた絵と卒業証書の二つの大型パネルを作成します。記念のページとして、思い出に残ってくれることと思います。

今後も生徒のよりよい環境が作り出せるよう、学校・地域と連携をとりながら、PTA活動に取り組んでいきたいと思えます。



前橋市PTA研究大会
(7/6~7/19オンライン開催)



令和二年度から中止になっていた研究大会。今年度は初めてYouTubeの限定配信を活用し、開催が実現しました。

落語家の笑福亭学光(しょうふうくていがっこ)さんをお招きし、『大人が変われば子どもが変わる』のテーマでご講演いただきました。経験談を交えたお話はとても分かりやすく、とても楽しい学びの時間となりました。

自分の悪気のない言葉で相手を傷つけることがある、みんなも自分と同じだと決めつけてしまうこと、愚かさなど、「ああ、私もそういうことがあるなあ」と自分のことを省みながら視聴しました。

その中でも、「自分が思ったことが正しいことと決めつけてしまうときがある」ということにドキツとしました。大人には、こういったことが多々あると感じます。「子供のために」良かれと思ってやっていることややっていると、それは、大人の「決めつけ」や「押しつけ」になっていないか、子供の気持ちを尊重しているのか、子供だからと差別してないか。私たち大人は、他者にも子供にも、眼鏡を外して、丁寧に伝えていくことが大切だと感じました。そのことで、子供も変わっていくのではと学びました。

オンライン開催にはまだまだ課題もありましたが、いろいろな開催方法が検討できたことは市P連が一步進歩したのではと、嬉しく思いました。今後も教育力向上の一助となるような研究大会が開催されることを願っています。

(文責)家庭教育代表幹事 星野

挨拶



市P連会長

狩野 恭弘

日頃より、前橋市PTA連合会の活動にご理解とご協力をいただきまして、心より御礼申し上げます。

令和四年度は、コロナ禍が三年目を迎えたこともあり、「ウイズコロナ」が定着した年だったと感じています。昨年度までの二年間、市P連の規模の大きい事業は中止の判断を余儀なくされてきました。しかし、今年度は工夫した対策を講じて、実行に移すことができました。また、各学校でも、教職員と保護者が協力して子供たちのことを考えた活動を行なっていただけたかと思えます。PTAとして最も重要な子供たちへの「想い」を実行に移していただき、心より感謝申し上げます。

さて、コロナ禍において「PTA活動」子供たちのサポート」が不十分な状態が続いているかと思えます。だからこそ、今、PTAは変革の時期であり、コロナ禍でも活動できる、時代に合致した組織に変える必要があると考えます。そこで、市P連では、未来を見据えた組織改革を実行したいと準備を進めております。各単位PTAでも、通常の活動ができない今こそ、時代に合致した組織に見直すため、行動に移していただけると幸いです。

PTAは「子供たちのために」存在する組織です。過度な負担やストレスを感じることなく、任意団体としてボランティア精神をもち、有意義な活動をしていただきたいに切に願います。子供たちを守り育て、自立に向かうサポートを行うため、引き続きご理解ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

市P連一年のあゆみ

「子供と共に育もう、こころの豊かさ たくましさ」

令和4年度 前橋市PTA連合会の活動

<>は市P連以外の主催による事業

月	日	主な事業	実施状況	
4	14	家庭教育代表役員会 役員推薦委員会・第1回役員会	新旧の役員で開催	
5	11	広報研修会	書面開催	
	26	定期総会準備	中止	
	27	定期総会・懇親会	書面開催 懇親会は中止	
6	2	青色防犯パトロール実施者講習会	書面開催	
	3	<県P連定期総会>		
	15	第2回役員会		
	23	第1回会長会議		
7	25	<中部教育事務所管内PTA指導者研修会>		
		社会を明るくするパレード	中止	
	6	前橋市PTA研究大会	オンライン開催	
8	18	第3回役員会		
	24	第2回会長会議		
9	10	26,27	<日P全国研究大会 山形大会>	
10	15,16	<日P関フロ研究大会 山梨大会>		
11	2	<県P家庭教育研究会>		
12	10	<県P大会 館林大会>		
1	12	第4回役員会 第1回役員推薦委員会		
	27	第3回会長会議・懇親会	懇親会は中止	
2		下旬	広報紙「前橋のPTA」(第77号)発行	
	15	第5回役員会 第2回役員推薦委員会		
3	4	<県P会長研修会>		
	上旬	前橋市PTA活動実践事例集(33集)発行		

市P連役員として

一年間、市P連の役員を務めさせていただいて本当によかったと思っています。それは市P連のチーム力とつながりを強く感じることができたからです。



とくに、単位PTAの運営において様々な判断が迫られる中、会長会議の全体会や分科会で他の会長のみならずと顔を合わせて情報交換ができたことは本当にありがたく、心強かったです。

今年度、市P連の役員として、会長会議などの各種会議を運営するお手伝いできたこと、市P連の役員の方々や他校のPTA会長と出会えたことは、私にとって本当に大きな財産となりました。

このような機会に恵まれ、感謝でいっぱいです。一年間本当にお世話になりました。

(文責/幹事 穴原)

市P連 今年度の取組

前橋市PTA連合会では、「子供たちが安心・安全に毎日を過ごせること」を最も優先すべきこととして位置づけ、子供たちに直接つながる各単位PTAの活動を支援できるよう、開催や運営の方法を工夫しました。

「広報研修会」については、感染症拡大防止のため書面開催とし、講師を依頼していた前橋市役所秘書広報課の資料と実践発表を依頼していた山王小の資料を、単位PTAの参考となるよう配付しました。「青色防犯パトロール実施者講習会」については、県警の指導の下、100名ほどの希望者に対して書面での講習開催とし、参集することなく実施者証の交付を行いました。また、3年ぶりの開催となった前橋市PTA研究大会は、感染症拡大防止のため、2週間の期間限定のオンラインによる開催とし、多くの方に視聴いただけるようにしました。さらに、今年度は、年3回の会長会議を予定通りに開催することができ、全体会と分科会にて、各校のPTA活動について、単位PTA会長同士が情報交換を行いました。

PTA活動が「子供たちのための活動であること」を常に意識し、今できることを工夫して取り組んだ1年になりました。これからも、時代や状況に合わせたPTA活動を行っていくことが大切だと考えています。

会長会議 全体会・分科会



各単位PTA会長の出席により年3回開かれる会長会議では、全体会と学区別分科会が行われます。とくに全体会終了後に学区ごとに分かれて行われる分科会では、各校のPTA活動の実態や取組についての情報交換(第1回会長会議)や学区別教育懇話会のテーマ決め(第2回会長会議)、総括等(第3回会長会議)を行っています。

今年度は、感染症拡大防止のため会議時間を1時間とし、スムーズな会議運営により、短い時間の中で情報交換を行ったり協議を行ったりと、有意義な時間となりました。

令和4年度 市P連役員

会長
狩野 恭弘 P 東中

副会長
塩原 大輔 P 山王小

幹事
齋藤 信吾 P 桂萱東小
小畑 真紀 P 荒子小
西田 知子 T 粕川小

幹事
穴原 大輔 P 城東小
齊藤 雄介 P 鎌倉中
古田 陽 P 大利根小

教職員代表幹事
井上 浩次 P 粕川小

家庭教育代表幹事
阿久澤正彦 T みずき中
渡辺 泰弘 T 敷島小
新井 寿 T 広瀬小

家庭教育代表幹事
阿久津 一 T 大利根小
後藤 弘史 T 芳賀中
齋藤 明 T 荒砥中

顧問
大澤 恵 P 中川小

顧問
黒岩 香織 P 細井小

顧問
山口富美子 P 広瀬小

顧問
阿久澤麻美 P 箱田中

顧問
星野 由美 P 桂萱中

顧問
小菅 恵子 P 木瀬中

顧問
津久井春佳 P 粕川中

顧問
吉澤 守和 P 粕川中

会計監査
河原 智康 P 前市P連会長

前市P連家庭教育委員長
井上千恵美 P 前市P連幹事

前橋の子育て これだけは

前橋のどの家庭でも 子供たちに身に付けさせたい親として持っていたい心構え

平成17年度から市P連が家庭教育力の向上を目指して示している「前橋の子育て これだけは」。これは、前橋のどの家庭でも子供たちに身に付けさせたい親として持っていたい心構えです。これをもとに、各単位PTAは様々な活動に取り組んできました。※各校の具体的な取組は、前橋市PTA連合会のホームページに実践事例集として掲載されています。
<https://www.sites.google.com/view/maebashi-pta>



子供たちにこれだけは

- 思いやりの心を持つ
- 人にめいわくをかけない
- うそをつかない
- あいさつをする
- やくそく・ルールを守る
- 自分のことは自分でする

親としてこれだけは

- 明るく愛情ある家庭をつくる
- 子供との対話を大切に
- 良いことは褒め、悪いことは叱る
- 子供の意思を尊重する
- 思いやりの心を教え示す
- 社会のルールを守り教える

学区別教育懇話会

令和4年度 学区別教育懇話会 内容一覧

学区・日時・場所・当番校	テーマ	主な話題・内容
第1学区 11月24日(木) 第三コミュニケーションセンター みずき中PTA	「あいさつ」と「思いやり」	・あいさつは、相手の存在を認める行為、合図である。また、コミュニケーションの基本であり、人間関係の始まりの一步となる。 ・思いやりとは、相手の立場を考える力であり共感する力である。それゆえ、体験活動や読書などにより様々な世界を知り、相手の気持ちを想像する力を身に付けていくことが大切である。 ・あいさつをする力や思いやりの心は、人との関わりを通して育成されていく。
第2学区 10月26日(水) 南橋公民館 敷島小PTA	思いやりの心をもつ	・異年齢の交流の場や機会など子供同士で物事を解決できる場や機会を設け、様々な年代との関わりの中で、たくさんの経験をできるようにする。 ・親や周囲の大人が、「目指す大人のモデル」となる。 ・親が子供の話を聞く機会を意図的に設けたり、一緒に過ごす時間を増やしたりする。また、親が子供にその子のよさも課題も伝え、しっかりと向き合っていく。 ・互いに称えあう寛容な社会を目指す。
第3学区 9月30日(金) 広瀬小学校 広瀬小PTA	社会のルールを守り育てる	・子供は親の姿を見て学ぶ。一番の手本である親が、ルールをしっかりと守る。 ・親子で対話しながら、一緒にルールをつくる。そして、子供がルールをうまく理解できるように、教えていく。 ・親子でルールを決めたら、甘やかしてしまわないよう徹底して守らせ、積み重ねていく。 ・約束をするには、親子関係がしっかりと構築され、信頼関係があることが大切である。そのためには、「親子のコミュニケーション」を図っていく。
第4学区 11月9日(水) 東公民館 大利根小PTA	社会のルールを守り教える	・通学路を親子で歩いたり安全マップを活用したりして、計画的・意図的に子供に通学路の危険箇所を教え、身を守るようにしていく。 ・防犯ブザーの使い方や大声を出して逃げることを教えたり、子供同士でヒヤリハットの共有による意見交換をしたりして、危険について考える機会をもつ。 ・通学路の課題解決のために、自治会や警察と連携していく。 ・元氣よくあいさつする明るい地域になるよう、活性化を図っていく。
第5学区 11月17日(木) 芳賀公民館 芳賀中PTA	社会のルールを守り教える	・大人は、子供の言動に「思いやり」が見られた時や感じられた時に、そのことを言葉で伝え、子供自身が自覚できるようにする。 ・自分の行動を周りがどう思うか、子供が振り返る機会をつくる。 ・家庭と学校がそれぞれできることを実践し、子供のよいところも悪いところも共有して連携、協力することで子供はよりよく育っていく。 ・否定の言葉がけではなく、「する」といよ」というような肯定の言葉がけにより、望ましい行動を取れるようにしていく。
第6学区 10月6日(木) 城南公民館 荒砥中PTA	自分のことは自分でする	・ルールを自分事として捉えて守ろうとする意識が芽生えるよう、子供の躰に落ちるよう、話し合せて、一緒に決める。 ・主体的に物事を考え判断する機会を子供に与えて、善悪を判断する力を育てていく。 ・子供にとって、先を予測したり危険を予知したりすることは難しい。また、不審者に対して警戒心が低く、瞬時に判断する力が弱い。だから、親子で意識的・意図的に不審者について話をするのが大切である。
第7学区 10月18日(火) 粕川公民館 粕川小PTA	約束・ルールを守ろう	・子供はタブレットを使うことに慣れ、有効活用ができています。それゆえに、ルールの再確認や再設定をし、親子で共有していくことが大切である。 ・マスク着用や手洗い、手指消毒などが習慣化され、しっかりとやっている。その反面、マスク着用慣れ、人とのコミュニケーションの取り方が難しくなっている。 ・親が、「あいさつをすることや時間を守ることは、大事なこと・必要なこと」という意識をもち、しっかりと教えていくことが大切である。



各学校のPTA活動の充実と家庭教育の向上、家庭と学校、行政との連携を深めることを目的として、今年度も、感染症対策を十分に講じて、学区別に教育懇話会を開催いたしました。

「前橋の子育て これだけは」をもとにして学区ごとにテーマを設定し、各校のPTA会長と校長先生、教育長や教育委員など市教委の方々、グループに分かれて熱心に話し合いました。子供たちを取り巻く様々な問題や課題、子供たちの健やかな成長につながる適時適切な支援やその具体的な方法などについて意見や考えを出し合いました。また、それぞれの立場から成功例や失敗例を含めた具体的な取組などを紹介し合いました。

子供たちのよりよい成長には、家庭と学校、そして行政が連携していくことが大切であることを改めて認識することができた学区別教育懇話会となりました。



学区別教育懇話会に参加して

毎年、学区ごとに行われている教育懇話会は、家庭と学校、行政が連携して子供たちの健やかな成長のために意見交換をする場となっています。

PTA会長として教育懇話会に参加し、大変有意義な時間を過ごすことができました。テーマについて話し合い、時には笑いが起こるほど終始和やかなムードで行われました。各学校の校長先生やPTA会長、教育委員会の方々積極的に発言され、時間が経つのがあっという間でした。皆さんから、それぞれの立場の様々な意見や意見を伺うことができました。

帰宅後すぐに、教育懇話会での貴重な話を本校の本部役員にも知らせて、シェアいたしました。また、PTA広報紙でも保護者の方々に分かりやすくお知らせいたしました。

教育懇話会に参加された皆さんの立場は違いますが、子供を大切に思う気持ちは同じということを実感いたしました。教育懇話会で伺ったお話を今後のPTA活動や子育てに活かしていきたいと思っております。

(文責/副会長 小畑)

わたしたちの

P T A

= 仲間通信(42) =



木瀬中学校

◆前橋市立木瀬中学校PTA
木瀬中学校では、生徒一人一人が安心・安全に学校生活を送れるよう、学校・家庭・地域一体となりPTA活動を積極的にを行っています。
総務委員会では、登校時の安全を確保するために、自治会長さんや支部長さんから危険箇所等を伺い、保護者と学校職員が協力して交通安全指導を行っています。また、親子で参加できるPTAセミナーを年に一度開催しています。
本部主催行事としては、秋の体育

大会が安全に行われるよう、夏休み末に親子除草作業を行い、校庭の環境整備を実施しています。この活動には、学校施設利用関係者も参加し、正に学校・家庭・地域一体の活動となっています。本年度は、五〇〇名弱の参加がありました(写真)。
以上のような活動を広報委員会が新聞にまとめ、発行しています。
今後、学校・家庭・地域一体となって生徒一人一人のためにPTA活動に取り組んでまいります。



荒子小学校

◆前橋市立荒子小学校PTA
荒子小学校では、「家庭、学校、地域が連携して子供を育てよう」のスローガンのもと、子供たちが安心して楽しく学校生活を送れるよう、見守り応援することを活動の中心としています。
安心、安全の確保では、登校時や持久走大会時の交通指導をはじめ、運動会では自治会と協力し、熱中症対策としてテントの設営を行っています。また、今年度は水泳授業の見守りも行いました。

本校は、元気にあいさつできる子供の育成にも力を入れ、月に一度PTA役員と教職員が登校時に「あいさつ運動」を継続して行っています。
令和五年度は、創立百五十周年を迎えます。今年度より実行委員会を立ち上げ、様々な準備を進めています。コロナ禍ではありますが、子供たちが楽しい学校生活を送れるようPTA活動に取り組みます。



桃木小学校

◆前橋市立桃木小学校PTA
桃木小学校は、学校のすぐそばを桃ノ木川が流れる、豊かな自然環境に恵まれた学校です。
PTAの活動については、コロナ禍の前後で大きく変化してきました。現在は、会員の負担を軽減しつつ、子供たちにとって有意義なことは何かを模索しながら活動を行っています。
今年度は、「桃ノ木川クリン作戦」をはじめ、通学時の旗振りや放課後の安全パトロール、三年ぶりの

開催となった前橋まつりでの鼓笛パレードなど、学校行事のお手伝いが活動の中心となっています。また、PTA総会では、QRコードを会員に配付し、総会資料をスマートフォンで読み取ってフォーム上で回答をしてもらうなど、社会で推進されているDX化にも取り組んでいます。
今後も、子供たち、学校、会員、地域の皆様に、PTAがあつてよかったと思ってもらえる活動に取り組んでいきたいと考えています。



受賞 おめでとうございます (敬称略)

- ◆優良PTA群馬県教育委員会表彰
元総社中学校PTA
- ◆第三十六回群馬県PTA広報紙
コンクール(令和三年度広報紙)
優秀賞
山王小学校PTA
桃瀬小学校PTA
群馬大学共同教育学部附属中学校PTA

佳作賞

- 東小学校PTA
- 第五中学校PTA
- 桂萱中学校PTA
- 下川淵小学校PTA
- みずき中学校PTA
- 明成中学校PTA
- 大胡中学校PTA

編集後記

今年度も前橋市の子供たちのために、ご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行から三年がたち、少しずつではありますが、通常の生活に戻りつつあります。そのような中、各単位PTAでは子供たちができることを模索したり、これからの組織のあり方を検討したりしながら、よりよいPTA活動を目指して取り組まれていることと思います。市P連でも、前橋市PTA研究会をオンラインで開催したり、各単位PTAの情報交換の場となる会長会議を年三回実施したりと、状況に合わせて、工夫しながら取り組んでいます。
令和五年度以降も、学校と家庭、地域が協力しながら前橋市の子供たちのために、活動していただきたいと思います。
一年間ありがとうございました。

※次回の仲間通信(令和五年度)は
桃瀬小・大室小・荒砥中です。